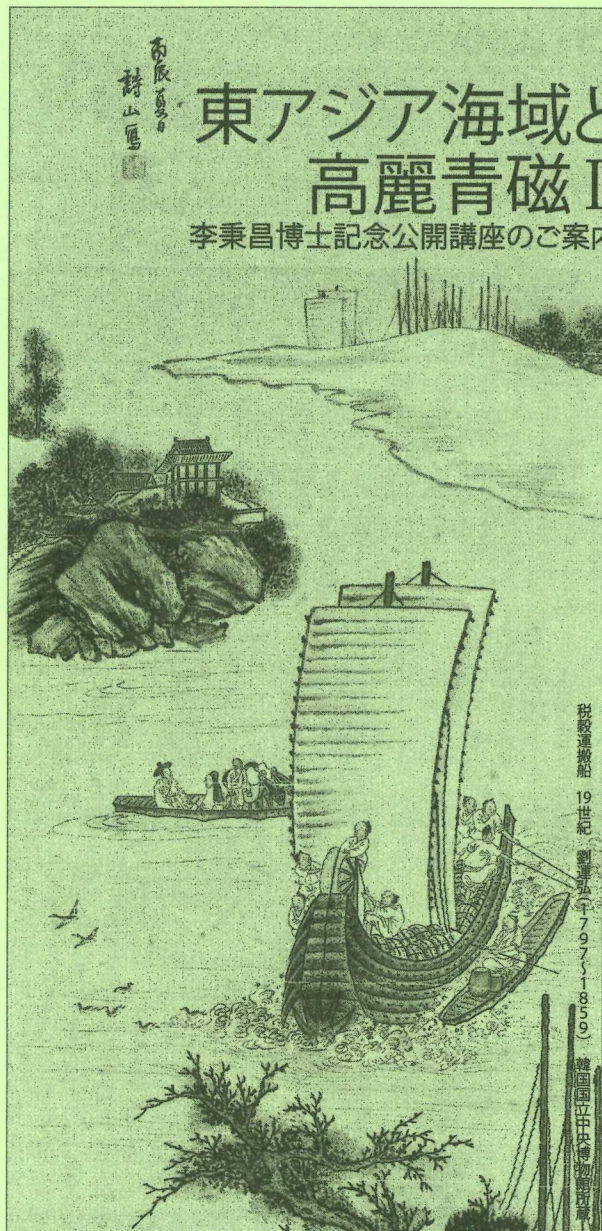




日時 2016年3月5日(土)
12時30分(受付開始)～17時

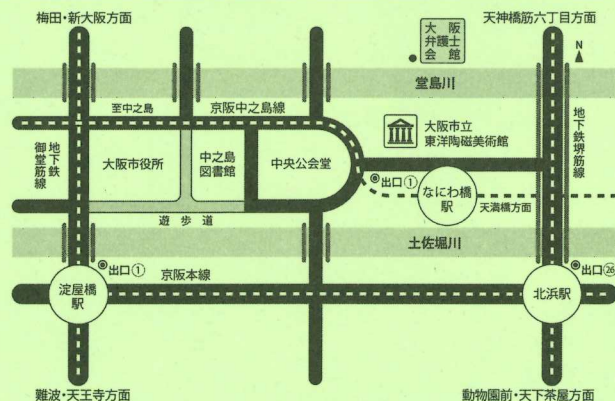
会場 大阪弁護士会館 10階会議室
(大阪市北区西天満1-12-5)

講座内容

高麗青磁の生産がはじまるのは高麗王朝建国初期の10世紀からですが、このころは中国系の「海商」が中心となって、東アジアの海上で活発に交易を展開していました。高麗青磁もまたそのような人々によって、海を渡って各地に運ばれたものと思われます。実際にそれがどのように移動し、各地でどのように受容されたのか理解するために、去年の本公開講座で提示された全体像をおさえながらも、今年度はもうすこし細かな状況を探ります。今回も、日本、韓国、中国から最前線の研究者をお招きし、最新の研究成果をご紹介します。

なお、本講座は、在日韓国人である故李秉昌(イ・ビョンチャン)博士にご寄贈いただいた韓国陶磁研究基金によって開催するものです。

定員 150名(先着順)
※聴講無料、10階会議室に直接お越し下さい



京阪・中之島線「なにわ橋」駅より徒歩約5分、
地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」「北浜」駅より
徒歩約7分、JR東西線「北新地」駅より徒歩約15分

大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課
(TEL: 06-6223-0055)

スケジュール

12:30 -	受付開始 ※準備の都合により、12時30分以前に会場へはお入り頂けません
13:00 - 13:05	開会
13:05 - 14:10	「13～14世紀の 高麗・元帝国の交易と磁器問題」 イ・カンハン 李康漢氏 (韓国学中央研究院・准教授)
14:10 - 14:15	休憩
14:15 - 15:20	「中国北方地区発見の 朝鮮半島産陶磁器」 ワン・フウチアン 王富強氏 (煙台市博物館・副館長) (予定)
15:20 - 15:25	休憩
15:25 - 16:05	「宋元時代における 福建陶磁と東アジア」 とくとめ だいすけ 徳留大輔氏 (出光美術館・学芸員)
16:05 - 16:10	休憩
16:10 - 16:45	「済州島出土の陶磁器 — 高麗時代を中心に」 ジョン・ウンジン 鄭銀珍 (東洋陶磁美術館・学芸員)
16:45 - 17:00	質疑応答
17:00	閉会

主催 大阪市立東洋陶磁美術館、公益財団法人大阪市博物館協会
後援 駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院、東洋陶磁学会

2016年度 特別展のご案内 (予定)

2016年4月29日(金・祝)～7月31日(日)
『没後100年 宮川香山』

2016年12月10日(土)～2017年3月26日(日)
『台北 國立故宮博物院
— 北宋汝窯青磁水仙盆』